

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
		1	20	土曜	9:00	13:00	藤金倉庫
活動名称	木工教室						報告：牛島

<活動目的>

- ・ 森の産物である間伐材を利用しベンチ等を作ることにより、資源の再利用を実感してもらう。
- ・ 竹材も産物であるが、竹細工等を児童が手軽に加工できるような小道具を作り、自然と触れ合う機会を提供することで、参加者に緑の大切さを感じてもらう。
- ・ イベントでは子供向けの竹細工体験が地球にやさしい環境になることを知ってもらう。
- ・ 間伐材のイチョウ丸太をまな板用に製材し、有効活用する。

<主な活動内容>

- ・ 1000X1000 の福祉ベンチの足を製作するが、天板セットまで至らず。後日製作を計画。
- ・ 竹細工用の作業台は 16 組（32ヶ）製作した。
- ・ 2 x 4 材を 300 で切断し、切れ込みを入れて、台として完成させた。
- ・ 倉庫内の電動工具類の整理整頓は後日回しとなった。
- ・ 倉庫内周辺の廃材を 500mm 以下に切断し、こまめに焼却を行った。
- ・ 余熱で焼き芋を焼き、皆で食する。

<評価・課題>

- ・ ベンチは福祉課の要請でほっこり村に設置する予定だが、年度内完成が目標となる。
- ・ 竹細工用の作業台は門松製作時に不足し、追加が要請されていたが充分提供できるようになった。
- ・ 製材機を使ってまな板の材料を確保したかった。（動画を SNS 発信）
- ・ まな板はイベント参加者へ配布することにより産物利用の活動を知ってほしい。
- ・ 火燃しは隣のストックヤードに飛び火しないようチョロ火でと注意、指摘された。

<里山参加者>

福島、小嶋、小澤久、阿部、柳川、佐野ヒ、金、小沼、橋本
 その他（杉山、柏木、牛島）

<活動写真>

